

問1 北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県の全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため | 2. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本でも最少のため | 3. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地へ転用されているため | 4. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため |
|---|--|---|---|

問2 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|--|
| 1. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。 | 2. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。 | 3. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。 | 4. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。 |
|-------------------------------------|--|---|--|

問3 北海道の道央部に位置し、広大な石狩平野の中に広がる北海道の道庁所在地について、その都市名と特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 茨城公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。 | 2. 旭川市は、石狩平野の南端に位置する道庁所在地で、周辺では大規模な稲作が行われている。 | 3. 函館市は、道南地方の政治の中心地であり、青函トンネルを通じて本州との結びつきが強い道庁所在地である。 | 4. 釧路市は、道東地方の石狩平野に位置する道庁所在地で、霧が発生しやすい気候を利用した乳牛の飼育が盛んである。 |
|--|---|---|--|

問4 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数 | 2. 農業従事者一人あたりの農薬使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積 | 3. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量 | 4. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|

問5 北海道の地理的特徴や自然環境について述べた次の文のうち、知床半島に関連する記述として正しいものはどれか。（2017年 愛知公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。 | 2. 亜熱帯の気候に属し、独自の進化を遂げた固有種が多く生息することから、小笠原諸島とともに世界自然遺産に選ばれている。 | 3. 親潮（寒流）の影響を強く受けるため、夏季には季節風が温められて上昇し、年間を通して降水量が非常に多い地域である。 | 4. 流水が接岸する北限の地として知られ、広大な泥炭地が広がることから、全域が世界文化遺産に登録されている。 |
|---|--|---|--|

問6 日本を七つの地方に区分した統計において、北海道地方の耕地面積は約115万ヘクタールと他の地方を大きく上回っており、農家一戸あたりの耕地面積が非常に広いという特徴があります。このような土地条件を背景に発展した、北海道の農業の形態として最も適切なものはどれですか。（2019年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|----------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 大型機械を活用した大規模な経営 | 2. 大都市の近郊で行われる施設園芸農業 | 3. 狭い土地に多くの労働力を投入する集約的な農業 | 4. 平地が少ないため斜面を利用して行われる段々畑での農業 |
|--------------------|----------------------|---------------------------|-------------------------------|

問7 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何といいますか。（2019年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|---------|-----------|---------|
| 1. 酪農 | 2. 果樹栽培 | 3. 稲作単一経営 | 4. 施設園芸 |
|-------|---------|-----------|---------|

問8 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。（2022年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。 | 2. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。 | 3. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。 | 4. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため	北海道は、一戸あたりの経営面積が大きく、大規模な機械化農業が行われているのが特徴です。米の栽培面積そのものは日本最大級ですが、それ以上に、冷涼な気候を活かした小麦、大豆、てんさい、じゃがいもなどの畑作や、広大な土地を利用した酪農も非常に大規模に展開されています。そのため、農業全体で見ると「米以外の作物」の占める割合が大きく、米の単作傾向が強い東北地方の各県に比べて、全耕作面積に対する米の比率は相対的に低くなります。このように、多様な作物を組み合わせた大規模な農業経営が行われていることが北海道の大きな特色です。
問2	答え 1 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆类、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わされているのが大きな特徴です。
問3	答え 1 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。	札幌市は石狩平野に位置する北海道の道庁所在地であり、人口190万人を超える政令指定都市です。北海道の行政や経済の中核機能を持ち、毎年冬に大通公園などを会場として行われる「さっぽろ雪まつり」は、国内外から多くの観光客を集める一大イベントとなっています。
問4	答え 1 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問5	答え 1 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。	知床は、流氷が運ぶ栄養分による海洋生態系と、それを糧にするヒグマやシマフクロウなどの陸上生態系が密接に関わっている点が評価され、世界自然遺産となりました。選択肢にある「季節風が温められて」という記述は、親潮が寒流であることを考えると誤りです。また、小笠原諸島は「東洋のガラパゴス」と称されますが、知床とは気候帯も登録理由も異なります。
問6	答え 1 大型機械を活用した大規模な経営	北海道は明治時代以降の開拓の歴史もあり、他都府県に比べて一戸あたりの耕地面積が格段に広く確保されています。この広大な農地を少人数で効率よく管理するために、大型のトラクターやコンバインなどを導入した機械化が進み、大規模な農業経営が行われるようになりました。これは、土地が狭く労働力を多く投入する「集約的」な農業とは対照的な特徴です。
問7	答え 1 酪農	北海道東部の根釧台地では、夏でも気温が上がりにくい冷涼な気候を活かして、広大な土地で乳牛を育てる酪農が盛んに行われています。ここでは、大型機械を導入した大規模経営が行われており、日本全体の生乳生産において極めて重要な役割を果たしています。
問8	答え 1 道名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いから、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。	東京都から北海道への移動は、距離が非常に長く時間がかかるため、新幹線などの鉄道よりも高速な航空機が選ばれる傾向が顕著です。一般に、交通手段の選択においては「4時間の壁」と呼ばれる基準があり、鉄道（新幹線）での所要時間が4時間を超える場合、航空機のシェアが圧倒的に高くなります。新潟県や大阪府は東京都からの距離が比較的近く、鉄道（新幹線）の利用割合が高い地域であるため、提示された統計データには合致しません。